

中学生が市政へ提言

市では本年度、市の未来を担う若い世代の皆さんの考え方を市政に反映させていくため、中学生議会を初めて開催しました。その内容についてお伝えします。



中学生議会を終えて宮澤市長や市の幹部職員と記念撮影



協働のまちづくりに
若い世代のアイデアを生かす

市では8月6日、堀金総合支所内の市議会議場で「中学生議会」を開催しました。当日は、市内7中学校の代表28人の生徒の皆さんが、宮澤市長や市の幹部職員に質問、提案などを行いました。

この取り組みは、昨年、市が行った「協働のまちづくり推進ワークショップ」で大人だけでなく、市の将来を担う若い世代の考えを市政に反映させることが大切との委員の声から実現したもので、中学生の素直な目線からの斬新な発想やアイデアを市政に反映させ、協働のまちづくりの推進に生かすことを目的にしています。



学習会

第1回 5月18日
第2回 5月26日
第3回 7月6日

「中学生議会」を行うにあたり、市政全般を学ぶ学習会を全3回の日程で行いました。

第1回は5月18日、堀金総合支所で行われ、自己紹介の後、生徒の皆さんは「福祉」「安全・安心」「産業」「教育」「まちづくり」の5つのグループに分かれ、市の仕事や市が抱える課題などを市の担当者から説明を受けました。また、議会を進行する議長には斉藤昌昭くん（豊科南中2年）、副議長に勝浦理彩さん（穂高西中2年）が選



リハーサル（7月30日）

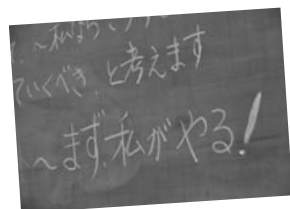
ばれました。

3回の学習会を終えて、各グループでは学習成果を元に質問する内容を分担し、各自が当日の発言原稿をまとめました。発言内容には質問でなく、学習した成果と、今後の市政に対する建設的な意見を提案するようにし、協働のまちづくりの推進を目的にすることから提案には私が「したいこと」や「できる」ことを考え、その上で自分ではできないことを市への提案として盛り込みました。

7月30日には堀金総合支所で行い、8月6日の本番に挑みました。



市の様子や市の仕事の内容について担当者から説明を受けました。



まず、自分にできること。市にやって欲しいことを質問としてみとめます。



学習したことノートにまとめ各自が提言をまとめました。

◎学習会を終えて（7月6日）



文化振興について提案したい

教育グループリーダー
わたなべふうが
渡邊風雅くん
(豊科北中2年)

市役所の仕事はとても複雑だと感じていましたが、身近で分かりやすい仕事をしていることが分かりました。3回の学習で、教育予算や市の文化施設の利用率が低いこと、安曇野の歴史や文化について知ることができました。多くの市民のみなさんが安曇野の歴史や文化を知る機会が少ないと感じたので、議会当日は市の文化振興について提案できたらと思います。

同世代の人のいろいろな考え方を知ることができました

福祉グループリーダー
おぎのななみ
荻野菜々美さん
(三郷中2年)

市役所は福祉の仕事にも関わっていることを知りました。福祉を充実させるためには、みんなが協力して助け合い、病気にならないことがとても大切なことだと分かりました。この学習会を通じて他の学校の人々とも仲良くなりました。自分とは違ういろいろな考え方を持っていることも知ることができ、とても良かったです。

